

記者発表資料
 平成26年7月28日
 自然保護課野生生物保護班
 担当 木村 内線 2673

野生鳥獣の肉における放射性物質の測定結果について (平成26年度第7報)

仙台市，白石市，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町及び山元町で採取されたイノシシの肉並びに川崎町で採取されたツキノワグマの肉について，放射性物質の測定を行ったところ下記のとおり検査結果が出たのでお知らせします。

今回の検査結果は，全て国の基準値（100ベクレル/kg）以下でした。

なお，ツキノワグマ肉及びイノシシ肉については，平成24年6月25日付けで，県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており，現在も継続しております。

記

1 測定結果

(単位：ベクレル/kg)

鳥獣名	捕獲場所	放射性セシウム		捕獲年月日	測定日
		測定値	食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値		
イノシシ	川崎町大字支倉字殿上山	20	100	H26.7.5	H26.7.25
	村田町大字菅生	21		H26.7.6	
	柴田町入間田	100		H26.7.8	
	白石市福岡八宮	63		H26.7.8	
	白石市福岡深谷	46		H26.7.10	
	仙台市青葉区赤坂	9.2		H26.7.11	
	亶理町逢隈神宮寺	23		H26.7.17	
	仙台市青葉区芋沢	21		H26.7.20	
	大河原町大谷字後田	16		H26.7.21	
	山元町久保間	100		H26.7.23	
ツキノワグマ	川崎町大字今宿字畑平	84		H26.7.6	
	川崎町大字今宿字畑平	58		H26.7.17	

※ 次のURLから，野生鳥獣肉に係るこれまでの検査結果が確認できます。

<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/other/#11>

2 測定年月日

平成26年7月25日

3 検査機関及び検査機器

株式会社 理研分析センター ゲルマニウム半導体検出器

4 検出下限値

13～17ベクレル/kg

(参考)

◎ 検出下限値

当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を指し，測定ごとに異なります。

なお，測定値及び検出下限値は，Cs-134及びCs-137それぞれを合算した値であり，測定値においてCs-134及びCs-137のどちらかのみが不検出の場合，測定値が検出下限値を下回ることがあります。

